



# 子育て中の方に ぜひ読んでもらいたい オススの本!

日頃、自分の子育てが正しいのか不安になったり、子どもに対しどう接したらよいか悩んだりしていませんか。図書館にはそんな悩みを和らげてくれる本や、お子様と読むことで物事を考えるきっかけになるような絵本がたくさんあります。日々の子どもとの関わりに、本を取り入れてみてはいかがでしょうか。



## 保護者の方へ



『スマホをひろったにわとり』  
ニック・ブランド／作  
いしだみき／訳 (マイクロマガジン社)  
にわとりのミス・ポップコーンは、ある日、馬小屋で光る不思議な箱を見つけます。その箱には次々にメッセージが送られてきて、ポップコーンは箱に夢中になってしまいます。親子でスマホの使い方を見直すきっかけになる絵本です。



『おやくそくえほん』  
高濱正伸／監修  
林ユミ／絵 (日本図書センター)

目には見えない、触れないけれど、世の中には大事な「おやくそく」があります。どうして「おやくそく」は必要なのか。子どもにどう「おやくそく」を伝えればいいか、困ったときに参考になる絵本です。



『どんなきもち?』  
たかいよしかず／作  
(大日本図書)

生きていく上で「もし〇〇だったらどんなきもち?」になるか、自分や相手の立場になって気付くことはとても大切なことです。いけないことを頭ごなしに叱るより、「どんな気持ち?」になるか親子で考えてみませんか?



『ついておいでフロー!』  
ジャーヴィス／作  
青山南／訳 (BL出版)  
自分勝手なカモの女の子、フロー。ある日、お父さんと出かけることになり、「きちんとずっとついておいで」と言われたのに、フローはひとりどこかへ行ってしまいます。お父さんとはぐれたフローはどうなるのでしょうか?



『きょうりゅうのうたのおーとあふない』  
ジェイン・ヨレーン／文  
マーク・テイリング／絵  
ながわちひろ／訳 (小峰書店)

元気いっぱいの恐竜たち。でもでも待って! なんだか危ないことをしてみたい! どこが危ないのか、どうしてそう思うのか、いっしょに原因を考えてみよう!



『思春期のしんどさってなんだろう?』  
鴻巣麻里香／著  
(平凡社)

思春期を迎えた子どもとの関わり方に困ったことはありませんか? 本書では、中学生へのインタビューを通じ、彼らの抱える悩みに寄り添います。大人にも子どもにもおすすめの1冊です。



『大丈夫! あなたはちゃんと子育てしてるし子どももちゃんと育ってます!』  
佐々木正美／著 (主婦の友社)

しつけや子どもの性格など、よくある悩みに著者が優しく寄り添ってくれます。人気の三姉妹のマンガも相まって肩の力を抜いて読める本です。



『ママも子どもも悪くない! しからずにすむ子育てのヒント』  
高山恵子／著 (Gakken)

「ママが自分と子どもを好きになれるような子育ての本を」と、心理士である著者が、具体的な育児の場面についてママに問いかけ、関わり方や行動のとりえ方などを回答しています。

読み聞かせ等に関するご相談は、ぜひ、下記の図書館までどうぞ!

中央図書館 ☎636-0231  
上河内図書館 ☎674-1123

東図書館 ☎638-5614  
河内図書館 ☎673-6782

南図書館 ☎653-7609  
※表紙画像の無断コピー禁止

